

アートマネジメント講座

1. アートマネジメント実践実習

日 程：2012年8月21日(火)～11月27日(木) (25回)

場 所：愛知県芸術劇場小ホール、リハーサル室、事務室など

講 師：山口佳子(アートマネージャー、NPO 法人アルファルファ理事)

加藤仲葉(フリー・アートマネージャー)

藤井明子(文化情報センター主任学芸員)、唐津絵理(文化情報センター主任学芸員)

受講者：平成23年度からの継続受講者5名、平成24年度新規受講者3名 合計8名



2. インターンシップ受入れ

日 程：

① 3芸術大学枠 : 2012年9月21日(金)、24日(月)～27日(木) (5日間)

② 一般募集枠 : 2012年8月6日(月)～10日(金) (5日間)

③ 学・高校生就労体験 : 2012年8月7日(火)～9日(木) (3日間)

場 所：①②③とも小ホール、大リハーサル室、会議室など

講 師：①②③とも文化情報センター学芸員はじめ職員、事業団職員

受講者：

①愛知県内の3つの音楽大学から推薦を受けた学生6名

②一般公募期間中に応募のあった大学生合計5名

③中学生1名、高校生1名



芸術文化の「創り手」と「受け手」をつなぐ視点をもった人材(アートマネージャー)を育成するため、開催しているアートマネジメント講座。今年度は、実践実習とインターンシップの受け入れを行った。

実践実習は、より舞台公演制作の基礎的な実践能力を身に付けるという目的で、2012年11月3日・4日に開催する「県民参加型公演『金の文化祭』(小ホール)を体験公演とし、広報、練習対応、当日運営のための書類作成、舞台スタッフや出演者への連絡対応、当日運営などを実体験した。昨年度の反省会の中で出された、1年では学びきれず機会があるならもう1回体験したいという希望者の要望に応じて、継続受講を認めた。25回の実習回数だけでは、制作・広報の全てを行うことはできず、参加可能な受講者には参加できる時間に来てもらい、さらに熱心に実体験してもらった。公演全体の内容についても、県民参加公演・20周年記公演ということにちなんで、賑わいを作り出すため、ロビー装飾を縁日的なしつらえにしたいという、受講者の意見も尊重し、楽しい雰囲気を出すことができた。

インターンシップの受入は、対象者を、主に、芸術大学などでアートマネジメントについて学ぶ学生とし、愛知県内の3つの芸術大学(愛知県立芸術大学音楽学部、名古屋音楽大学、名古屋芸術大学音楽学部)からの推薦枠と、一般公募した東海三県に在学・在住・実家がある等の学生の枠に分けて2回開催した。また、中学生・高校生の就労体験も同時に受け入れた。内容は、主に受付や鑑賞者の誘導などおもての仕事を中心に体験し、ゲネプロ鑑賞、公演企画の立案と発表など、自主企画事業に関して多方面から体験ができる内容とした。